



成田ロータリークラブ 週報



世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー2015～16 年度会長 K.R. ラビンドラン

第2671回例会 平成27年9月11日(金)

- ◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長
 - ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
 - ◇ 四つのテスト 小柳 政和 会員
 - ◇ お客様
 - ◇ ニコニコボックス
- 東京東江戸川ロータリークラブ 嶋村 文男 様

嶋村 文男 様 (東京東江戸川ロータリークラブ): 本日、初めて成田ロータリークラブさん



にお邪魔しました。東京東江戸川ロータリークラブの嶋村文男と申します。私は今、地区の米山記念奨学委員会副委員長を務めております。今日は、皆様にお願いがあって参りました。堀口さんには事前にお話させていただいたのですが、モンゴルにご縁がありまして、私自身モンゴルを2回訪問しております。一昨年からジャンチブ・ガルバドラッハさん(モンゴル/1998-99/山形北RC)さん【米山学友では新モンゴル語学園を創立した大変

有名な方】の学友のホームカミングで日本へ来た時のお世話係をずっとやらせていただいております。実は、こちらにも大変お世話になったシルネンさんとも2回お会いしまして、昨年7月から交流させていただきました。今回7月1日にロータリーのメンバー20名でモンゴルを訪問し交流してきました。実はジャンチブさんがフレ(Khuree)ロータリークラブというモンゴルで一番古いロータリークラブの会長になり、その関係で彼の就任式に行ってきたわけです。今回、11月3日からジャパンツアーと称してフレロータリークラブの皆さんが、20名ほど日本を訪問します。3日に成田に着き、そのまま釧路、札幌、仙台、山形、東京、横浜と廻りまして、彼のゆかりのあるクラブと交流するということになっております。目的としては日本をみんなに見て欲しいということと、併せて有効クラブを作りたいということです。そんなこともございまして、実は米山地区委員会では歓迎会をやりましょうということで、11月8日、

モンゴルと日本の友好イベント フレRC歓迎会

<モンゴルの実力派シンガー「ナラン」のディナーコンサート>①



フレRC
2001年設立。モンゴルで2番目に古いロータリークラブ
会員数33名。
今期会長・ジャンチブ・ガルバドラッハ氏
(1998-99/山形北RC/モンゴル米山学友会初代会長)

NARAN(ナラン)
モンゴル語の他に英語、中国語、ロシア語
日本語も操るド迫力の国際級歌手。
その声量とテクニックは超一流です。
母国モンゴルで「DECO」というボランティア
活動を展開中。フレRC会員

日時 **2015年11月8日(日)**
場所 **クワール船場2F 福寿・桃源閣**
(都営新船場線船場駅前)

受付/17:00 開演/17:30
コンサート 17:30~18:30
会 食 18:30~20:00
(着席コース料理・ブードワンク)
※ドレスコード

会 費 **1人10,000円。**
申 込 先 **嶋村文男宛(ガラー・フェローシップの会事務局)**

主催 **ガラー・フェローシップの会 協力 モンゴル留学生会**
後援 **駐日モンゴル国大使館**

彼のクラブにNARAN (ナラン) さんとい

うモンゴルでは著名シンガーがいます、その方と彼の学校の卒業生の同期の演奏会をしてもらおうということで企画をいたしました。私が住んでいる江戸川でやるものですから、もしお時間があればと思いご案内に来た次第であります。今日は貴重な時間をいただきましてありがとうございます。私も成田空港で事業所を開設している関係もあり、来よう来ようと思っておりましたが、なかなか来られないでございました。これを機会に是非また訪問させていただきたいと思えます。

○ジャンチブ・ガルバドラッハさん

山形、仙台等の有志ある方々が集まって「柱一本の会」を設立し、学校を創るための支援運動を開始。ロータリアンの皆さんが中心となった支援の輪が広まり、300人が会員となり、夢が実現。2000年、モンゴル初の日本式高校である新モンゴル高校を設立。

○ホームカミング制度

元米山記念奨学生の子帰り訪問を推進する制度（2008年に開始）

日本の各34のロータリー地区において最大2名までの学友を地区大会などにおいて招聘し、その活躍を紹介してもらおう。毎年10～15名の学友がホームカミング制度の下で招聘されている。

○フレロータリークラブ

2001年に設立された初のモンゴル語で活動を実施するクラブ。会員は28名中、21名が女性。（2014.3.1現在）

◇ 会長挨拶

佐瀬 和年 会長

国勢調査が始まりました。私もお手伝いをさせて戴いておりますが、気付いた事はアパートに外国人が多くなった事です。言葉は解るが、日本語文字が解らない。そう言う雰囲気を感じさせる対応がありました。後程、外国語の調査票を届けますが、このようにして外国人が増えている現状です。

日本人と結婚して、可愛いお子さんをお連れの方も多く見かけます。



東洋の外れにある小国日本が、世界舞台に登場するのは、1850年代ペリーが久里浜沖に「黒船」で現れて以後40年でその黒船で海軍を作り、日清戦争を行い、その10年後に日露戦争を行い、海軍戦のみならず陸戦に於いても戦果をおさめ、全世界を震撼させて以来、世界は日本の文化と日本人の素晴らしさに着目したのでした。

産業界に於いては、繊維紡績工業、自動車、工作機械、時計カメラ等精密機械工業界にいたるまで、優れた製品を生み出す産業力を持つようになりました。またスポーツの分野に於いては、野球、サッカーに代表される、外国生まれのスポーツに対しても、世界のトップレベルにまで到達しております。

治安の良い国、優れた文化と礼節の素晴らしさから見ても、諸外国から羨望視されています。八月末に行われた中学校剣道大会で感じた、選手たちの「へんじ」の素晴らしさ、話を聞く態度の良さ、日本の所作礼法がきちんとこの中学生たちに受け継がれている。なんと素晴らしい部活動に、我々成田ロータリークラブは支援をさせて戴いているのだろう、

感謝。

皆様にお伝えすることがあります。11月6、7、8日、モンゴルに視察へ行きます。希望者で、旅費は8万円、交通費のみです。ご希望の方は申し入れて下さい。若干の補填を申し上げたいと思います。

◇ 委員会報告

・クラブ管理運営委員会

吉田 稔 委員長

例会終了後、ひばりの間で委員会を行います。テーマは3ヶ月間のレビューと今後についての意見交換をさせていただきたいと思います。



・社会奉仕

佐藤 英雄 リーダー

15日、メディア協議会の前、夕方5時から委員会を開催します。今年度の基本方針の確認です。



・米山記念奨学

日暮 俊久 リーダー

本日、一括寄付として小川 賢会員、本宮昌則会員から、そして積立寄付として日暮から10万円の寄付をいただきました。



◇ 幹事報告

吉田 稔 副幹事

《回覧》

- ・週報 成田コスモポリタンRC
- ・東金ビューRC メールアドレスの変更
- ・ポリオ撲滅支援自転車レースにちなむDDF寄贈のご案内
- ・2015-16年度会長賞 補足説明ウェビナー
- ・ロータリー特別月刊にあわせて国際ロータリー提供の主なリソース（出版物・映像資料・ニュース記事）のご案内
- ・各委員会メディア協議会、海釣り、分区ゴルフ（八街創立50周年記念ゴルフ）出欠表
- ・広報誌ロータリー注文書

《連絡》

・石川憲弘エレクトが来週入院のため9月中はお休み。お見舞いのご辞退されております。



◇ 卓話

“昨今の携帯電話事情及びSNSについて”

甲田 直弘 会員

皆様、こんにちは。広報委員長の甲田でございます。先月、橘会員より9月の卓話を広報委員会で担当していただきたい旨のお話を頂きまして、後日、委員会を開きまして・・・厳正な話し合いの結果・・・私が担当させていただくことになりました。内容については広報委員会でもありますので、今後の広報活動において必要不可欠な携帯電話についてお話したいと思います。



少し砕けた話をしながらになりますが、どうか宜しく願い申し上げます。

まず、私が携帯電話を初めて持ったのは、22歳くらいの頃です。今から20年以上前の事です。なぜ、そんな昔に持っていたか？というお話を致しますと私が当時働いていた会社というのが、かなり激務な勤務内容でした。まず、場所が船橋の海沿い・・・当然、交通の便も悪く車通勤を余儀なくされる場所でした。朝、6時には家を出まして、帰るのは夜11時、時には12時を過ぎていたのではないかと思います。皆様、考えてください 20歳そこそこの若い独身男性でも一週間この生活をしていたら当然、休みの日にどこか出かけよう！なんて気は起きません。その当時、残業などで20歳そこそこの貰えるお給料以上の額を頂いておりました。それにより、貯金がどんどん溜まるんですね。そうなるのと、何にお金を使おうかという事を考えて、車は買いました。じゃあ次は誰も持っていない物という事で携帯電話が浮かび上がり購入することに決めました。その当時の携帯電話というのは、まずレンタルのみでした。レンタルで初期費用が十数万位でしたでしょうか？形もいわゆるトランシーバーのような重さでゴツゴツとしていたように記憶しております。当時はまだ、ポケベル全盛期だった為、携帯電話を持っている人自体少なく掛かってくる訳ありません、従って、あまり活用はされていなかったと思います。それから数年が経ち、いろいろなメーカー・機種が出始めてから携帯電話も大幅に改良されて外観も小さくなり重さも軽くなりはじめました。ちょうど、そのころに寝ぼけて、間違えてテレビのリモコンを持って行ってしまったベタなミスもありました。

そして、今劇的に普及しているのがスマートフォンでございます。このすさまじいIT時代に情報を発するツールとしてフェイスブックなどSNSではないでしょうか？フェイスブックというのは、簡単に申し上げますと、個人で言えば自分自身のHPです。しかし、数か月ごとの更新で足りる一般HPと違ってフェイスブックは簡単に写真や動画や記事がその場でUPできる優れたものでございます。登録後に自分の事をいかにしてPRしていくか皆さん苦心して更新をしているかと思えます。家族の事、今日の出来事、とにかく何でも良いのです。

もう一つ、スマートフォンで良く使われているツールと言えば、ツイッターです。ツイッターというものは、やはりこちらもリアルタイムにたくさんの人と繋がるものでございます。例えば、道を歩いていて、大雨が降ってきます。目撃した人は写真を撮って、その写真を、ツイッターを通してネットに一言添えてUPします。例えば、「あ、雨だ！」とか。それを他の人が見て、そのことについて何か感想、意見を言うのです。

ここで気をつけなければいけないことというのは、インターネットっていうのはプライバシー設定で極力狭い範囲にしてあれば知人しか見ませんので安心なのですがいろんな人が見られるような設定にしておくとならば全世界の人に向けて発信してしまう可能性があります。よくニュースにもなっているツイッターで、非常識な写真や自分の意見をUPしてしまえば、あっという間に他のユーザーから攻撃されます。

こういう事件を見ますと、今の若い世代というのは想像力が足りないのではないかと思います。こうしたら、こうなる！というプロセスを考える力の欠如。先週、基本的教育に関して話し合いをいたしました。こういう力はどうやって着いてくるのか、どうやって衰退していくのか、今圧倒的にテレビゲームが普及しております。このテレビゲームというのは、あらかじめシナリオが設定してある遊びです。私もゲームを

子供たちと一緒にやり、楽しんでおりますが あまりに小さいうちよりゲームに慣れてしまうと、大切な想像力が失われていくのかもしれないと危惧しております。

さて、今までのロータリークラブとしての活動についてはあまり公にしない方が良いという風潮の中で行われてきました。

この風潮が悪いという事は全く無いと思います、いわゆる日本人的と申しますか古風と申しますか、決して否定されるものではないと思っております。しかし、昨今の風潮として、ロータリー活動をもっともっと世間の皆様にわかっていただくには、広報活動を充実させなければいけないという危機感のようなものがあります。世間一般の人達のロータリークラブってお金持ちがお昼を一緒に食べている！だけの印象などが良い例ではないでしょうか？

今年度、私の抱負として、スマートフォン専用ホームページの作成を挙げております。スマートフォンは、電話機なのに、メールもできる、ゲームもできる、写真・動画も撮れる、インターネットもできる、これ一台あればパソコンが必要ないというほど、機能が充実しております。

今の若い世代の方はスマートフォンを持っているけどパソコンは持っていないという人は多いのではないのでしょうか？以前、スマートフォンの普及率が大幅にUPしている話をしましたが今後もこの流れは続くでしょう。今後、人口減少で若い世代が減ってきております。ますます、若者のロータリークラブへの目が遠のいていく、この状況を少しでも緩和するためにも努力していかなければなりません。

我が成田ロータリークラブにはどこにも負けないくらいの立派なホームページがあります。このホームページは web(パソコン)専用であり、このHPをスマートフォンから見ようとすると、大変面倒くさく、見にくいものです。人間というのは誰しも、面倒くさい事に関しては拒否反応を起こします。わざわざ、そんな思いをしてスマートフォンからHPを閲覧しようと思う人はいないのでしょうか？そこで、まず第一歩としてスマートフォン専用HPを作成して入り口を入りやすいものに変えていきたいと思い、活動計画書に記載いたしました所存でございます。

今の若い世代はインターネットをやっていますが新聞を読む人は少なくなってきております。そもそも新聞を取っている家庭も減少しているでしょう。新聞はテレビ欄だけ読む！という人はおりましたが今やテレビ欄もインターネットや地デジの普及で簡単に情報が取れてしまいます。新聞、テレビ、パンフレット等、無くしてはいけない広報手段はもちろんあります。記者クラブとのメディア協議会などは、諸先輩方が苦勞して作られた立派な広報手段だと思っております。そこに新たなる広報手段であるSNSを取り入れることによってより多くの人達へ我が成田クラブの本当の姿が映し出されるのではないのでしょうか、そろそろ我が成田クラブでも良い意味でIT革命が必要な時期になっていると思っております。最後にぜひとも成田ロータリークラブ、名実ともに世界に一番近いクラブをめざしていきましょう。

◇ ポイント利用のロータリー財団寄付 1ドル=124円(9月1日現在)

ロータリー財団委員会リーダー
近藤 博貴 会員

松田前年度会長が提唱されたポイント利用のロータリー財団寄付などについて説明します。

本日、設楽会員から10万円の寄付金をいただき、遠藤会員から500ポイントの移譲を受けることになりましたので、以下のフローチャートによりロータリー財団への寄付の手続きを行ないたいと思います。

ポイント利用で余剰となった3万8千円分は、成田ロータリークラブ基金へ組み入れさせていただきます。

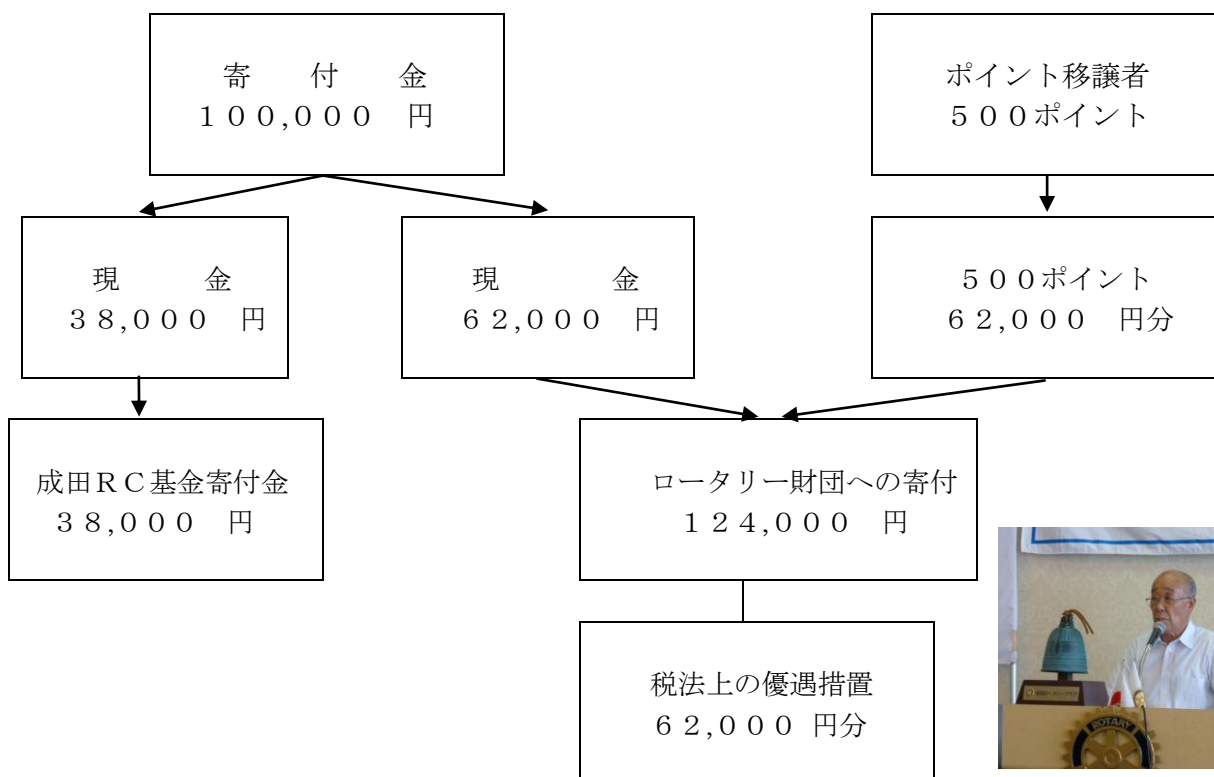
この場合ロータリー財団への寄付金は6万2千円ですので、税法上の優遇措置は6万2千円分となります点にご留意ください。また、ご自分で所有しているポイントは他の会員には移譲できますが、自分自身では利用できません。多くのポイントを所有している退会された会員に依頼してポイントに移譲していただく方法もありますので、これについても検討していきたいと考えています。

その後、ロータリー財団からポイントの利用は500ポイント以上でそれ以下は認めないことになったという連絡があったそうです。

②の例のポイントを利用した寄付については、地区ロータリー財団委員会も推奨していますので、ご希望の方はご連絡くださるようお願いいたします。

① ロータリー財団へポイントを利用して1,000ドル（12万4千円）を寄付し、ポイント利用分の差額を成田ロータリークラブ基金へ寄付をする場合

寄付金10万円、500ポイント利用分62,000円



② ポイントを利用してロータリー財団へ寄付する場合

移譲されるポイント	円換算	寄付する金額	ロータリー財団寄付額
100	12,400 円	111,600 円	124,000 円
200	24,800	99,200	〃
300	37,200	86,800	〃
400	49,600	74,400	〃
500	62,000	62,000	〃

◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長

第1回 メディア協議会

- 司会進行 高橋 正 会員
- 会長挨拶 佐瀬 和年 会長
- 講演 まち・ひと・しごと創生(地方創生)
成田副市長 関根 賢治 様

- 乾杯 近藤博貴

- 参加メディア/お客様

毎日新聞 早川健人 様、朝日新聞 大津正一 様、読売新聞 諏訪泉 様

時事通信社 石井靖子 様、共同通信社 王暉星 様

成田コスモポリタンロータリークラブ 藤崎 康人 様



【時事通信社 石井靖子 様】

今まで成田空港があったために国の補助を受けてやってきたけど、これからは自分達で考え、より自分たちの街づくりをやっていくという副市長のお考えに感銘を受けました。医療特区は信じられないような倍率だっただろうに、国家戦略特区として指定された時は、正直驚きました。前回のメディア協議会で話題に出ましたが、いずれにしても一つ一つの具体的なメリットというよりは、医者を目指す若い方が、この重要な時期を成田で過ごすという事は、どれだけ意義があるかというのは計り知れません。成田市には、知恵をもった素晴らしい方が沢山いらっしゃるの、しっかり設計される事を願っています。地元の人と話をしますと、財政負担を心配されている方が非常に多くいらっしゃいます。私は、財政負担はそんなに心配していません。最初はそれなりのものを作るのだから、ある程度のお金が掛かるのは当たり前です。ただ運営費の段階になってまで負担するのはどうかという思いはあります。

空港に関しまして、4者協議も決まり、最大の山を越したかなと個人的には思っております。そんな中みていると、成田市は非常に財政的に恵まれています。95%以上の固定資産税が入ってきます。固定資産税は自由に使える財源です。人口も増え、財源もある。そういう事もあり、成田市は自分の利益にならなくても近隣の市町村の為に何かできる事はないかと言う大きな気持ちになって対応することが重要なのではないかと思います。またそうでなければ上手くまとまっていけないのではないかと最近感じております。本来は市民の為に考える事ですが、空港圏という事でそういう考え方もあるのではないかと思います。



【読売新聞 諏訪泉 様】

すっかり酔っ払いましたが、成田に来てまだ1週間。前任地は長野県松本でした。東京生まれなのですが、どこの諏訪かとよく聞かれました。長野には天下の奇祭と言われております諏訪大社・御柱祭があります。7年に一度のお祭りです。体験したかったのですが望み叶わず異動になりました。2年半おりましたが、赴任してすぐ、春先に記録的な大雪となり二日間交通が完全ストップ。4月には渚で水害。10月には御嶽山が噴火。1ヶ月は地獄のような生活でした。7月の下旬に内示、第3滑走路問題が紙面に掲載され、最重要課題と本社から言われました。他社の皆さん、ツワモノばかりでとてもかまいませんが、少しずつ準備を進めていければいいなと思います。お付き合いよろしくお願いたします。



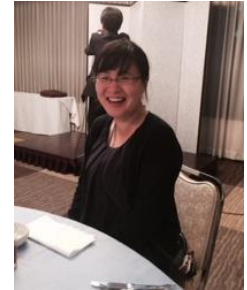
【朝日新聞 大津正一 様】

支局長の小松が用事がありまして、私が代理で参りました。去年の4月に成田へ参りました。父がJALに勤めておりましたので成田は小さい頃から所縁があります。現在、我孫子に住んでおり、父も印西市の小林におります。2歳の子供がいますが、近くに来られて、親孝行できたかなと思っております。成田ではテニスとゴルフを。テニスは今でも続けています。ゴルフはある程度やっ
てスコアが出たら止めようと思っていたのですが、目標の70台が一度出たので、それ以降はやっておりません。チャンスがあれば皆様よろしくお願ひいたします。



【共同通信社 王暉星 様】

始めて参加しました。昨年からお声を掛けて頂き折角のチャンスなので、協議会ギリギリの当日になってしまいましたが申し込んで参加させていただきました。中国生まれの埼玉育ち、小学校低学年から日本に住み、23年目になります。父方の祖母が日本人です。祖母は大阪の出身で、父も大阪生まれ、その縁もあり日本に来ました。しかし、正直大阪は好きではありませんでした。が、初任地は大阪。そこから松山。成田。大阪では伊丹空港を担当した事があり、希望地に成田を書き続けました。自分の勉強不足、知識の無さを反省しています。医療特区、第3滑走路も活発化しておりますので一生懸命取材したいと思ひます。



【毎日新聞 早川健人 様】

お別れのご挨拶をさせていただきます。3年半勤務した成田を離れることになりました。とても成田の皆さんに可愛がっていただきました。成田は昔から新勝寺の参拝者をもてなしてきたので、よそ者に優しいとこの前の協議会でお話させていただきましたが、そうしましたら、成田はお嬢さんの文化がある、そういうのもあってよそ者に冷たくないというお言葉が返ってきました。本当にありがとうございました。



出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
62	61	34	27	55.74%	72.13%

MAKE UP CARD

氏名	月日	クラブ名
諸岡 靖彦 会員	9月5日	地区 RLI-DL スキルアップ・トレーニング
高橋 晋、喜久川 登 会員	9月9日	村田ロータリークラブ
小寺 真澄 会員	9月11日	地区会員増強・退会防止委員会
佐瀬 和年、吉田 稔、矢島 紀昭、日暮 俊久、南日 隆男 諸岡 靖彦、橋 昌孝、佐久間 高直、本宮 昌則、成田 温 大塚 洋 各会員	9月11日	クラブ管理運営委員会
堀口 路加、諸岡 靖彦 各会員	9月12日	ガバナー補佐・地区委員長連絡会議
佐瀬 和年、深堀 伸之、成田 温、大澤 浩一、佐藤 英雄 長原 正夫、喜久川 登、橋 昌孝、諸岡 正徳、設楽 正行 神崎 誠、石橋 菊太郎、菊地 貴 各会員	9月15日	奉仕プロジェクト委員会
豊田 磐、滝澤 尚二、石橋 菊太郎、喜久川 登、小川 賢 小宮山 四郎、佐瀬 和年、成田 温、矢島 紀昭、神崎 誠 大澤 浩一、深堀 伸之、小泉 英夫、甲田 直弘、佐藤 英雄 小寺 真澄、堀口 路加、諸岡 正徳、菊地 貴、高橋 正 小坂 裕巳、齊藤 三智夫 各会員	9月15日	第1回メディア協議会
堀口 路加 会員	9月17日	佐倉ロータリークラブ

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078